



令和7年 5月14日(水)
石垣市立白保小学校
TEL: 86 - 7840
FAX: 86 - 7396



自ら考える子に育つために



新年度が始まり、1ヶ月が過ぎました。5連休が明けた週には、「1年生を迎える会」や「授業参観とPTA総会」の行事がありました。各学年の子どもたちが元気に学習に取り組む様子をご覧いただけたかと思います。ご参観いただきありがとうございました。さて、PTA総会のあいさつの中で、保護者の皆様に、「子どもが自ら考えて行動できるよう主体性や自立の心を育てていきましょう！」と話しました。子ども自身にどうしたらできるか考えさせ、今はできなくても「必ずできる！」と励まし、よき理解者よき応援者になって頂きたいと思っております。ご協力よろしくお願いたします。

家庭学習はルーティーンが大切！



学級懇談会の合間に吉濱剛さん(元小学校長)から低・高学年別にお話をいただきました。歯磨きや食事など毎日同じ時間にやっていることと同じように家庭学習もやるとそれが当たり前になってくるという内容のお話でした。大谷選手のルーティーンの話もあり、とても集中して聴いていました。

自学自習月間 あらため『さぶハマ月間』がスタートします！

「自学自習月間」(旧「家庭学習強化月間」)は、今年から「さぶハマ月間」に変わります。さぶハマ月間?? なんじゃそりゃ?それは、「さぶっ子がいろんなことにハマって見た月間」の略です。さぶっ子が「やりたいこと・できるようになりたいこと」に自分で選択して取り組み、学びの楽しさを実感する月間になります。

八重山地区の多くの学校では、20年以上も前から年2~3回「家庭学習強化月間」に取り組んでいます。目的は家庭学習の習慣化です...とはいうものの、あまりいいネーミングではないなと前々から思っていました。その理由は、家庭学習の習慣は強化するものではなく、子どもが自分で身に付けるものだからです。習慣付けることを強化して、その結果、例え一時的に成績が上がったとしても、果たして本当に子どもたち自身の「学力=生きる力」がついたと言えるのでしょうか。強制したところで自分のものにならないければ、また成績はダウンします。

沖縄県の子どもたちは全国学力テストで、6年生は以前の最下位が続いていた状態から全国平均並みまで上がりましたが、中学生はずっと最下位が続いています。成績低迷の原因はいろいろ考えられますが、もういい加減、他と比べるのはやめにしたらどうでしょう。子どもたちだけでなく先生たちの自己肯定感を下げる原因にもなっているのではないのでしょうか?問題はそこに学習者の主体性があるかどうかです。いくら外側から強制的に無理矢理教え込まれても、子ども自ら主体的に取り組まない限り、学習やスポーツなど様々な能力を伸ばすことは困難なのです。

チェンジした理由は、ネーミングがよくないだけではありません。これからの未来を生きる子どもたちにとって必要な力とは、他人と比較して競争力を高めることではなく、「自己肯定感」「自己有用感」「自己決定力」などの自分自身のよさを感じとる力を伸ばし、自らを高めていこうと努力する力です。

この月間の目的は、今までの「学習する習慣を身に付けること」ではありません。自分自身の夢や目標について再認識し、自分を見つめ直しながら、自分は何がやりたいのかを考え、好きなこと、得意なことを見つけよう、もっと伸ばそう、やりたいことにチャレンジしてみよう!といった、「ワクワク感をもたせる月間」なのです。

好きなことにチャレンジしている自分の姿を想像するとワクワクしませんか?そんなときの子どもの姿はきっと生き生きとしているはず。逆に「宿題やりなさい!もっと勉強しなさい!」「勉強しないから成績が上がらないんだ。」と言われた途端、やる気を無くしてしまった経験が誰にでもあるのではないのでしょうか。「今日は〇〇をやる」「今日は疲れているから休む」などの決断も含め、子どもに判断を任せてください。大切なのは自分の将来に責任を持たせることです。子どもが自己決定する機会を与え、子どもの主体性を育てていくための月間だと捉えていただけたらと思います。昔と時代は変わり、新しい学校教育がスタートしています。学力は自らの力を高める能力を育てることで伸びます。「好き」を見つけ、新しいことに積極的にチャレンジしていくことでその能力は発揮されるのです。

6月の行事予定



- 4日(水)お話朝会
小中合同研修会(4校時授業)
- 10日(火)特別支援学校との交流会
- 11日(水)クラブ②
- 13日(金)創立記念集会
- 16日(月)創立記念日(135周年)
- 18日(水)平和学習
- 23日(月)沖縄慰霊の日(公休日)
- 25日(水)委員会活動③